

別表(1)ウーA

歴史学科における専門教育科目の用意単位数及び配当年次表

区分	授業科目	単位数	配当年次	教職の 教科専門 等科目	備考
学科共通 科目	基礎演習	②	2		必修
	国際京都学入門※	②	1		必修
概論・ 研究科目	日本史概論	2	1	◎	日本史・東洋史・西洋史・文化遺産学の概論のうち6単位以上を修得すること。
	東洋史概論	2	1	◎	
	西洋史概論	2	1	◎	
	文化遺産学概論※	2	1	○	
	文化史概論Ⅰ※	2	2	◆(社会)、 ○(地歴)	
	文化史概論Ⅱ※	2	2	◆(社会)、 ○(地歴)	
	宗教史概論	2	3	○(地歴)	・「研究」8単位以上を修得すること。
	日本史学研究Ⅰ	2	③・④	○	
	日本史学研究Ⅱ	2	③・④	○	
	日本史学研究Ⅲ	2	③・④	○	
	日本史学研究Ⅳ	2	③・④	○	
	日本文化史研究Ⅰ	2	③・④	○	
	日本文化史研究Ⅱ	2	③・④	○	
	東洋史学研究Ⅰ	2	③・④	○	
	東洋史学研究Ⅱ	2	③・④	○	
	東洋文化史研究Ⅰ	2	③・④	○	
	東洋文化史研究Ⅱ	2	③・④	○	
	西洋史学研究Ⅰ	2	③・④	○	
	西洋史学研究Ⅱ	2	③・④	○	
	西洋文化史研究Ⅰ	2	③・④	○	
	西洋文化史研究Ⅱ	2	③・④	○	
	日本美術史Ⅰ	2	2	○	
	日本美術史Ⅱ	2	2	○	
	東洋美術史Ⅰ	2	③・④	○	
	東洋美術史Ⅱ	2	③・④	○	
	西洋美術史Ⅰ	2	③・④	○	
	西洋美術史Ⅱ	2	③・④	○	
	東洋考古学概論	2	2	○	
	文化遺産マネジメント論	2	2	○	
	文化情報学	2	2	○	
	文化遺産フィールド政策論※	2	2		
	考古学概論	2	2	○	
	考古学研究	2	②・③	○	
	地域考古学Ⅰ	2	2	○	
	地域考古学Ⅱ	2	2	○	
	人文地理学	2	2	◎	
	自然地理学	2	2	◎	
	文化的景観研究	2	②・③	○	
	歴史地理学	2	2	○	
	日本建築史	2	2	○	
	西洋建築史	2	2		
	建築・都市史学研究	2	②・③	○	
	東洋考古学研究	2	②・③	○	
	文化財科学研究	2	3		
	地誌学	2	3	◎	
	民俗学概論Ⅰ	2	3	○	
	民俗学概論Ⅱ	2	3	○	

区分	授業科目	単位数	配当年次	教職の 教科専門 等科目	備考
史料演習・文献演習・実習科目	日本史史料演習Ⅰ	2	2	○	・12単位以上を修得すること。
	日本史史料演習Ⅱ	2	2	○	
	日本古文書史料演習Ⅰ※	2	1	○	
	日本古文書史料演習Ⅱ	2	1	○	
	日本古文書史料演習Ⅲ	2	2	○	
	日本古文書史料演習Ⅳ	2	2	○	
	東洋史史料演習Ⅰ	2	1	○	
	東洋史史料演習Ⅱ	2	1	○	
	東洋文化史史料演習Ⅰ※	2	2	○	
	東洋文化史史料演習Ⅱ	2	2	○	
	西洋史史料演習Ⅰ	2	1	○	
	西洋史史料演習Ⅱ※	2	1	○	
	西洋史史料演習Ⅲ	2	2	○	
	西洋史史料演習Ⅳ	2	2	○	
	西洋文化史史料演習Ⅰ	2	1	○	
	西洋文化史史料演習Ⅱ	2	1	○	
	文化遺産学フィールド実習	2	2		
	文化情報学実習Ⅰ	2	3	○	
	文化情報学実習Ⅱ	2	3	○	
	文化遺産学文献演習	2	2	○	
	考古学実習Ⅰ	2	3	○	
	考古学実習Ⅱ	2	3	○	
	文化財保存実習	1	3	○	
	地理学実習Ⅰ	2	3	○	
	地理学実習Ⅱ	2	3	○	
	建築史実習Ⅰ	2	3	○	
	建築史実習Ⅱ	2	3	○	
演習科目	日本史・日本文化史演習Ⅰ	2	③・④	○	・専攻科目演習（卒業論文）10単位及びそれ以外の「演習」8単位以上を修得すること。 ・専攻科目演習（卒業論文）はCAP制の適用外とする。
	日本史・日本文化史演習Ⅱ	2	③・④	○	
	日本史・日本文化史演習Ⅲ	2	③・④	○	
	日本史・日本文化史演習Ⅳ	2	③・④	○	
	東洋史・東洋文化史演習Ⅰ	2	③・④	○	
	東洋史・東洋文化史演習Ⅱ	2	③・④	○	
	東洋史・東洋文化史演習Ⅲ	2	③・④	○	
	東洋史・東洋文化史演習Ⅳ	2	③・④	○	
	西洋史・西洋文化史演習Ⅰ	2	③・④	○	
	西洋史・西洋文化史演習Ⅱ	2	③・④	○	
	西洋史・西洋文化史演習Ⅲ	2	③・④	○	
	西洋史・西洋文化史演習Ⅳ	2	③・④	○	
	文化遺産学演習Ⅰ	2	③・④	○	
	文化遺産学演習Ⅱ	2	③・④	○	
	文化遺産学演習Ⅲ	2	③・④	○	
	文化遺産学演習Ⅳ	2	③・④	○	
	専攻科目演習（卒業論文）	⑩	4		

区分	授業科目	単位数	配当年次	教職の教科専門等科目	備考
他学科の提供する国際京都学プログラム科目	京都文化学フィールド演習	1	2		・文学部必修科目のプログラムを履修し、フィールド科目、演習科目から、合計10単位以上を修得しなければならない。 ・国際京都学プログラムの説明を参照して履修すること。
	世界遺産都市研修Ⅰ（オーストラリア）	2	1		
	世界遺産都市研修Ⅱ（ドイツ）	2	2		
	英語で京都Ⅰ	2	3		
	京都文化学概論Ⅰ	2	①・②		
	京都文化学概論Ⅱ	2	①・②		
	和漢比較文学概論Ⅰ	2	1		
	中国文学史研究Ⅰ	2	①・②		
	中国文学史研究Ⅲ	2	①・②		
	日本欧米翻訳文化論	2	2		
	国際文化交流研究	2	③・④		
	国際京都文化研究	2	③・④		
	京都文化学基礎演習Ⅰ	2	2		
	京都文化学基礎演習Ⅱ	2	2		
	中国語会話A	1	3		
	欧米から見た京都	2	1		
	英語で京都Ⅱ	2	3		
計		225			
留意事項 ・※は国際京都学プログラムの科目を表す。 ・科目名及び配当年次は変更することがある。 ・「単位数」欄の○印は必修科目を表す。 ・「配当年次」欄の○印は隔年開講を表す。別表(1)ウーBも同様。 ・「教職の教科専門等科目」欄中、免許状（社会、地理歴史）取得にとって、◎は必修科目、○は選択科目を表す。また、免許状（社会）取得にとって、◆は2科目から1科目選択必修科目を表す。					

別表(1)ウーB

歴史学科における教職関連科目

教科専門等科目	単位数	配当年次	免許状の種類	
			中学・社会	高校・地理歴史
法律学Ⅰ	2	1	◎	
法律学Ⅱ（国際法を含む）	2	2	○	
政治学	2	1	○	
社会学Ⅰ	2	2	1科目選択必修	
経済学	2	1		
社会学Ⅱ	2	2		
哲学Ⅰ	2	①・②	1科目選択必修	
宗教学	2	3		
哲学Ⅱ	2	①・②		
社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	①・②	◎	1科目選択必修
社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	①・②	◎	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	①・②	◎	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	①・②	◎	
地歴科教育法	2	3		

注 免許状の種類の欄中、◎は必修科目、○は選択科目を表す。